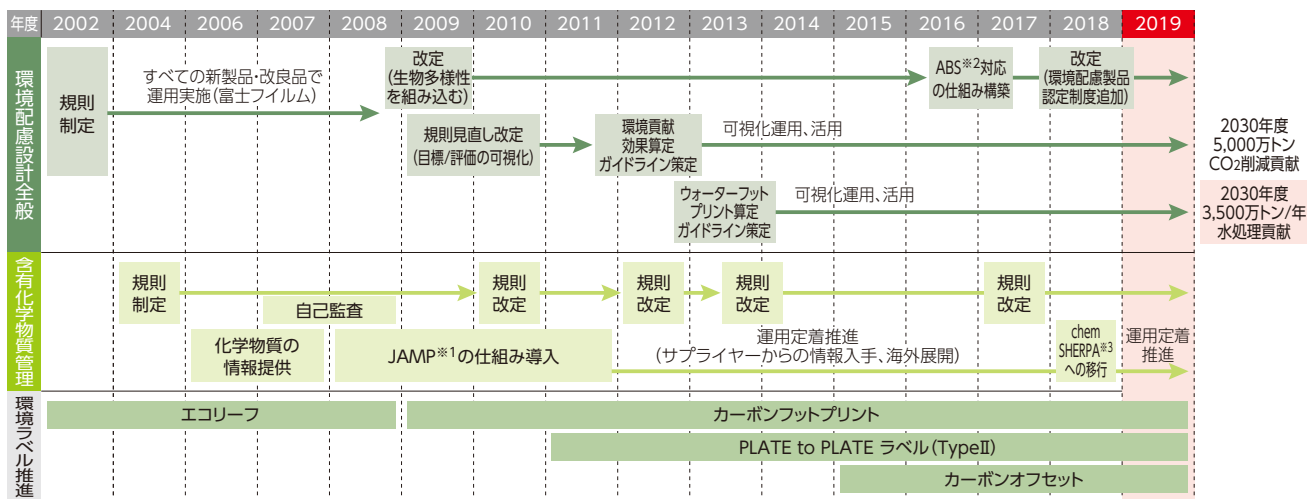


環境配慮設計の経緯

富士フィルムグループは、環境配慮設計を推進するため、製品開発の企画段階から環境性能の目標設定をする仕組みや、ライフサイクルアセスメントによる定量評価法の導入、環境負荷を低減した製品または環境負荷削減に貢献する製品を認定する「Green Value Products認定制度」をスタートさせるなど、製品・サービスによる環境課題解決に取り組んでいます。



※1 JAMP:アークティクルマネジメント推進協議会
 ※2 ABS:遺伝資源へのアクセスとその利用から得られる利益配分(Access and Benefit-Sharing)
 ※3 chemSHERPA:製品含有化学物質の情報伝達共通スキーム

3.1.3 EMS認証・監査・検証

2018年度のEMS認証・監査の状況

専門家による検証/監査/認証システム詳細 (国際的な認証であるISO14001、EMAS)	範囲60%
社内の専門家による検証/監査/認証システムの詳細	範囲40% FRC規則とFRC活動方針に基づいた、指示の発信とWEBシステムによる報告を受け、実施状況を検証している
当社における環境マネジメントシステム(EMS)のカバレッジ(上記2種の合計)	100%

関連URL: <https://www.fujifilmholdings.com/ja/sustainability/vision/activity.html>

3.1.4 環境法規制への対応

2018年度の環境関連の法規制に対する遵守状況とクレーム

2018年度の環境関連の法令違反は1件(うち海外は1件)、クレームは0件、事故は2件(うち海外は1件)でした。法令違反の事例は危険物の輸送管理に関するものですが、再発防止対応済みです。

	日本	海外	グループ合計
法令違反件数(うち 対応済み件数)	0(0)	1(1)	1(1)
クレーム件数(うち 対応済み件数)	0(0)	0(0)	0(0)
事故件数(うち 対応済み件数)	1(1)	1(1)	2(2)

2018年度の環境関連の法令違反・クレーム内容とその対応^{※1}

会社・事業場名	内容	対応
富士フィルム和光純薬	劇物をローリーで受入れ作業時に漏洩・流出	作業手順見直し及び受入容器の防液堤内移設により再発防止
FUJIFILM Manufacturing U.S.A.Inc.	危険物の輸送者に対する教育不足や表示類の不備 ^{※2}	輸送者への危険物取扱に関する教育と表示是正により対策済
FUJIFILM Manufacturing U.S.A.Inc.	危険物の輸送中の漏洩	容器の2重化により漏洩防止対策済

※1 比較的軽微なものを除く

※2 2017年に発生したが2018年に行政判断が確定